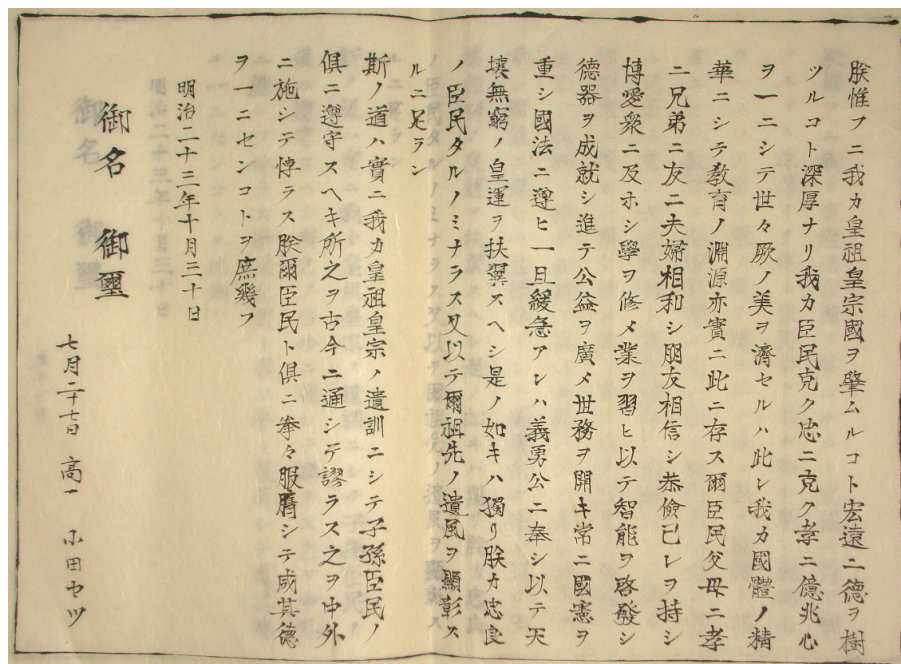


教育勅語



* 小田家文書（山口市下小鯖）184「教育勅語 戊申詔書写」

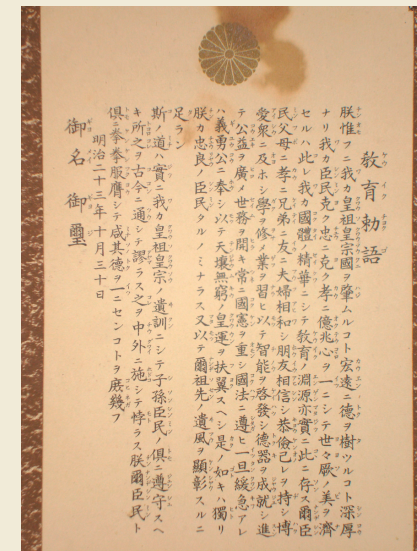
* 高等小学校1年の小田セツが書写した教育勅語。学校の課題だったのでしょうか。また、同綴に戊申詔書も書写してあります。戊申詔書は日露戦争後、国民に勤儉節約と国体尊重を徹底する目的で1908（明治41）年10月に発布された詔書で、教育勅語とともに明治期に出された国民教化の二大詔勅とされます。

解説

大日本帝国憲法の発布の翌1890（明治23）年には教育勅語（教育ニ関スル勅語）が出され、当時における教育の根本方針と国民の道徳の大綱が示されました。全国の学校に配布され、学校儀式などで奉読されるとともに、児童・生徒には勅語の暗記なども課せられました。

教育勅語には、親孝行、学問の大切さ、遵法精神、国家への忠誠など12の徳目が明記され、帝国憲法にいう「臣民」の形成に大きな役割を果たしました。

昭和に入り、十五年戦争時には極端に神聖化されたことから、敗戦後の改革により、1946（昭和21）年に奉読と神格的取扱いが禁止され、1948（昭和23）年には衆参両院で失効確認の決議がなされました。



* 山田家文書（徳山市）412「教育勅語・戊申詔書」